

介護ウェブ2016推進ニュース

-介護の Big Wave を広げよう！-



北海道

「ケアプラン有料化反対」緊急署名手渡す

2週間で3867筆！

介護に笑顔を！北海道連絡会は、日本介護支援専門員協会に賛同し、「居宅介護支援費の利用者負担導入に反対する」署名に取り組みました。2週間という短期間で、介護分野のみならず病院・薬局・歯科から合わせて3,867筆も集まりました。

集まった署名は6月9日、介護に笑顔を！北海道連絡会 河原政勝代表（協立いつくしみの会・常務）から北海道介護支援専門員協会 村山文彦会長（東区第2地域包括支援センター・センター長）に手渡しました。懇談には、当連絡会に加盟する田村優実氏（勤医労・書記次長）、甲斐洋平氏（勤医協在宅グループ介護ウェブ委員会居宅介護事業部門・委員長）も参加。

河原代表は、「介護保険制度と報酬の改悪が続き、深刻な事態が進行している。利用者・家族の負担も増え、廃業する事業も増え、介護労働者の処遇改善もすまない。これからも一緒に、連携と共同して、改善運動に取り組みたい」と話しました。

村山会長は、「この署名はケアマネが国に対して『私たちは本気だ』という意思表示するものであり、これからが頑張り時です。10月の日本介護支援専門員協会の全国大会を札幌で成功させることも重要です」と話しました。



ホームページをプクリニューアル

まだまだ改善途中ですが、一度覗いてみてください。各県連・事業所のHP情報もお寄せください。

<http://www.min-iren.gr.jp/kaigo-hukushi/index.html>



豆知識

平成三〇年から利用者負担が導入されれば、真にサービスを必要としている人に支援が届かない事態が考えられます。

現在は、ケアマネジャーによる相談支援に対し、利用者負担金はありません。

全日本民医連 介護・福祉のページ

「最後まで安心して」をささえる 介護・福祉をめざして

2016.06.02 ▶ 介護ウェブのページを更新しました。

2016.06.06 ▶ 民医連の「民医連の介護・福祉の理念と「解決策」」を掲載しました。

2016.06.13 ▶ プレスリリースを更新しました。

2016.06.09 ▶ 2015年度介護・福祉責任者会議を更新しました。

2016.06.24 ▶ 民医連の介護・福祉の理念を掲載しました。



青森

4月17日(日)川嶋みどり氏を講師に迎え、「いのちとくらしと平和を守る専門職としての看護だから」と題して、春の看護・介護ウエーブが開催されました。組織外からも10名の参加があり、総勢126名の参加で、会場は埋め尽くされました。



川嶋氏は看護職として働き65年。15年戦争の空気を吸い、平和への切実な思いがあります。人間が人間らしく生きるためには、

多くの人に悲劇をもたらす戦争はあってはならないこと。平和があってこそ人間の尊厳・いのち・暮らしを守る事が出来る。平和あってこそ実現する看護、専門職としての責務であると強く話されました。

5月14日(土)は街宣行動があり、56名の参加でした。例年と少し変え縁日風に行ってみたいと若者から提案があり、看護ブース・介護ブース・青年ブースと3つに分かれ、看護ブースでは「健康

チェック・看護師なりきり体験」、介護ブースでは「車椅子体験・介護食体験・介護相談」青年ブースではお楽しみブースとして、「いもくじ・輪投げ」等を行いました。合わせて看護・介護職員の人員不足についてのアピールや、署名活動も例年通り取り組みました。

当日天気は良かったものの、風が強く、テントが飛ばされそうになったりとても大変でしたが、各ブース盛り上がり、初の試みとしては成功に終わりました。

(あおもり協立病院勝野祥子)



福井



福井でも「介護をよくするアクション 2016」ビデオを作りました！全日本民医連動画ページからもアクセスできます。ぜひ一度見てみてください。他にも石川や滋賀が作成したビデオがアップされています。

<https://www.youtube.com/user/ndnnews1960>



【お願い】各地の介護ウエーブの取り組みをニュース又はホームページへ掲載します。とりくみがありましたら写真と記事(400字程度)を事務局までお寄せください。

お問い合わせは、「介護ウエーブ推進本部」まで 事務局：東、吉澤

TEL：03-5842-6451/FAX：03-5842-6460 E-mail：min-kaigo@min-iren.gr.jp